

# 令和元年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和2年4月10日

下関短期大学付属第二幼稚園

## 1 本園の教育目標

- ・ 明るくげんきな子ども
- ・ すすんで何でもしようとする子ども
- ・ ねばり強くがんばる子ども
- ・ すなおで思いやりのある子ども

## 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領の改訂を踏まえ、幼児の自発的な活動としての遊びを通して、創造性豊かで、物事に意欲的に取り組む子どもの育成を目指す。

チャレンジ目標：考える、決める、やってみる！

## 3 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	子どもの主体的な活動を保障する。	B	指導計画に位置付け、個に応じて幼児の積極性を引き出すよう心掛けた。
2	安心・安全な教育・保育環境を整備する。	A	様々な危機を想定した危機管理マニュアルを作成し、それに基づいた避難訓練等を実施した。
3	教職員の働き方改革を推進する。	A	教職員の休暇の積極的取得を促進するとともに、園行事の見直しを図った。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

## 4 総合的な評価結果

評価	理由
A	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、創造性豊かで、物事に意欲的に取り組む子どもの姿が多く見られるようになった。また、教育課程に子どもの自発的活動をいかに位置付けるかという課題も明確になった。

## 5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取組方法
1	教育課程の見直しと再編成	指導計画の様式を改訂し、計画の中で10の姿を可視化させる。0～5歳児までの教育課程を系統的・総合的に整理する。
2	職員研修の充実	付属第一幼稚園と計画的な共同研究を実践する。OJTを活用した園内研修の充実を図る。全員が園外研修に参加する。
3	安全管理	保健主任を指名し、感染症等の予防・対策のための環境整備を図る。職員による安全点検を定期的実施する。

## 6 学校関係者評価委員の評価

子どもや保護者、教職員の負担を考えると園行事のスリム化は大いに評価できる。読み・書き・計算は小学校で行うもの。幼児には好奇心を大いに掻き立て、目を輝かせて物事に向かう時間が大切である。幼児の時に、意欲的で、集中できる子は小中学校で必ず伸びる。今後も、チャレンジ目標を継続し、保護者からも理解してもらえよう努力をしてほしい。